

(4) 景観重要建造物等の指定に向けた進捗報告について

1. 令和8年度に目指すこと

①景観重要建造物・樹木について

景観重要建造物及び樹木の候補を挙げ、指定に向けた提案を実施するために以下の業務を実施する。

- ・ 国有形文化財（建造物）にかかるヒアリング（文化財担当部署）
- ・ 景観重要建造物及び景観需要樹木の候補案選定
- ・ 景観重要建造物及び景観需要樹木の所有者初期意向確認
- ・ 指定意向案件の調査・活用案作成
- ・ 指定候補の絞り込み

②重点地区について

現重点候補地区の中から重点地区の候補を挙げ、指定に向けた検討として以下の業務を実施する。

- ・ 現重点候補地区の現状の把握（庁内ヒアリング、都市計画マスタープラン地域別ワークショップ等）

(4) 景観重要建造物等の指定に向けた進捗報告について

①-1 景観重要建造物

景観重要建造物の候補となりえる国登録有形文化財（建造物）について、文化財担当部署である生涯学習スポーツ課に下記の表のとおりヒアリングを実施した。

	登録名称	構成資産	所在地 (町大字)	重点候補地区 内又は外	所有形態	公開状況	今後の利活用意向
1	かつおの天ぱく	主屋、作業場	大王町波切	内	法人	公開	現状維持（鯉節工場）
2	大王埼灯台	灯台、門柱、塀	大王町波切	内	官公庁	公開	現状維持
3	旧猪子家住宅	主屋、土蔵、門柱	阿児町神明	外	個人	公開	収益事業は考えず、 イベント会場として利活用
4	松井真珠店	店舗、蔵	阿児町神明 (賢島)	内	個人	公開	現状維持（真珠店）
5	旧向井家住宅	主屋、道具蔵、衣装蔵、 正門、石塀	阿児町甲賀	外	法人	非公開	カフェ等収益事業を検討
6	安乗埼灯台	灯台	阿児町安乗	外	官公庁	公開	現状維持
7	中六店舗	店舗	磯部町上之郷	内	個人	公開	現状維持（飲食店）
8	神武参剣道場	道場	磯部町上之郷	内	個人	公開	大会利用

(4) 景観重要建造物等の指定に向けた進捗報告について

①-2 景観重要樹木

景観重要樹木の候補として、下記の表のとおりとりまとめた。

* 参考資料：志摩市指定天然記念物、志摩市緑の基本計画

	樹木名	所在地等（町大字）	生息場所	重点候補地区 内又は外	所有形態	志摩市指定 天然記念物
1	トキワガキ群生	阿児町神明	神明神社内	外	法人	○
2	オオシマザクラ	磯部町恵利原	天の岩戸付近	外	個人	○
3	クスノキ	磯部町上之郷	伊雑宮内	内	法人	
4	イチヨウ	磯部町坂崎	隣江寺内	外	法人	○
5	クスノキ	磯部町坂崎	隣江寺内	外	法人	○
6	ナギ	磯部町迫間	玉泉庵内	外	法人	○
7	タブノキ	磯部町の矢	日和山付近	内	法人	○
8	イスノキ	磯部町の矢	的矢村神社内	内	法人	○

(4) 景観重要建造物等の指定に向けた進捗報告について <令和8年度スケジュール>

現在地：5/20
 第20回景観審議会



建造物・樹木ともに、2月の『第1次絞り込み』を本年度の目標として並行稼働

(4) 景観重要建造物等の指定に向けた進捗報告について <令和9年度以降ロードマップ>



景観重要建造物及び景観重要樹木 候補（案）一覧

所在地: 大王町波切

かつおの天ぱくは、太平洋を望む大王崎(だいおうざき)にある、鰹節を製造するための作業場と住居です。大王町では鰹節加工が盛んでしたが、現在でも操業しているのは数店となっています。

かつおの天ぱくの敷地の南側は、道路を挟んで海に続く崖となり、東側は一段高い崖となっています。平屋建の主屋は、敷地の北端に建てられています。東側は厨房とクドで、西に仏壇を持つ寝間と居間、4

畳間と床のある座敷が続きます。平成10年頃、ここに居住しなくなってからは、4畳間は商品の陳列場所、他の部屋は物置として使われるようになりました。



登録年月日: 2013(平成25)年3月29日

所在地: 大王町波切54-3

灯台(高さ23m・建築面積58㎡)、塀(延長105m)、各鉄筋コンクリート造

大王崎一帯は、伊勢志摩国立公園の中でも海と岬、集落、灯台が造り出す優れた景観で知られ、大王埼灯台は絵かきの町・大王のシンボルとなっています。石工の町でもあり、石段や石垣も美しい「志摩市景観計画重点候補地区」にあります。

大王埼灯台は登ることができる15基の灯台の1基です。円筒形の灯室と灯塔、扇形の付属倉からなっています。志摩半島の東南端の断崖上に立地しており、この周辺は暗岩の多い海の難所で、早くから灯台の設置が望まれていました。こうした要請を受け、関東大震災後初の新設灯台として1927(昭和2)年に設置されました。



所在地: 阿児町神明693-8※

主屋(建築面積95.2㎡、木造平屋建、瓦葺)、土蔵(建築面積19.8㎡)、門柱(間口3.0m)

1880(明治13)年に四国で生まれ、生命保険株式会社の各地の支店長を歴任した猪子弥平氏により、退職後の終の棲家として、旧志摩電鉄が開通し、賢島地区が保養地として息吹き始めた1934(昭和9)年に建てられました。

南と西に縁側が廻り、床の間と細かな格子戸を持つ書院や若草色の外壁で漆喰塗壁に漆仕上げの格天井の都会的な印象の洋間などの部屋があります。

映画「となりのトトロ」の「サツキとメイの家」のような、日本座敷と洋館造りの和洋折衷建築です。また、その活用も評価され、「ウッドデザイン賞2017」を受賞しました。



所在地: 阿児町神明(賢島)

松井真珠店は賢島の海岸通りにあり、店舗間口を英虞湾に面して建っています。松井家は明治38年から志摩市内で天然真珠の買付・販売を行い、昭和4年の志摩電機鉄道(現在の近畿日本鉄道志摩線)の開業に伴って賢島駅前に真珠販売の店舗を構え、現在に至っています。店舗は寄棟(よせむね)屋根の木造二階建てで、1階を店舗、2階を客室や居間として利用しています。1階の外壁は、昭和48年の改修により一部漆喰(しっくい)塗壁と海鼠(なまこ)壁になっています。蔵は主に商品の真珠を納めるためのもので、鉄筋コンクリート造二階建てです。防犯・防火を意識し、鉄扉や窓は堅牢な造りをしています。長い間「真珠蔵」として使用され、平成11年からは賢島美術館として利用されています。



所在地: 阿児町甲賀

向井家は甲賀村の村長や県会議員など重役を務めた旧家です。元々は甲賀地区の海岸付近にありましたが、嘉永7年(1854年)11月4日に発生した安政の大地震による津波被害によって海岸部の家屋がほとんど流出した際に山手へと移り住んだことが、本住宅石塀北側にある祠内の石碑に記されています。

敷地の北側に主屋と蔵2棟が並び、南東に正門があり、そのまわりを

石塀が囲っています。主屋は木造平屋建切妻造の建物で、鏡壁を付す当地域らしい外観の民家です。屋内には接客用の大広間があります。道具蔵と衣装蔵は隣り合っており、いずれも土蔵造二階建です。



登録年月日:2013(平成25)年3月29日

所在地:阿児町安乗795

高さ16m、建築面積27㎡、鉄筋コンクリート造

安乗埼灯台は、志摩半島に深く切り込んだ矢湾に突出する岬に建てられています。海の難所であるこの場所には、江戸期には灯明台とうみょうだいが設けられ、その後数回の建て替えを経て、1948(昭和23)年に現在の灯台が建てられました。現在の灯台は、白色の鉄筋コンクリート造で、円筒形の灯室、角柱形の灯塔、方形の付属舎で構成されています。映画「喜びも悲しみも幾歳月」や吉井勇の小説「志摩月夜」などにも取り上げられ、海とともに生きてきた志摩という地域を象徴する建物として親しまれています。

登ることができる15基の灯台の1基で、「灯台50選」にも選ばれています。隣接する灯台資料館ではその歴史を学ぶことができます。また初代の木造八角形の灯台は、東京都にある「船の科学館」で余生を過ごしています。



登録年月日:2011(平成23)年10月28日

所在地:磯部町上之郷392

木造2階建、瓦葺、建築面積172㎡

伊勢神宮内宮の別宮である伊雑宮の門前にあり、現在はうなぎ料理店として使用されています。屋号の「中六」は伊雑宮の御師おしであった中六太夫から取り、江戸時代には旅館が建てられていたと言われていました。周辺の歴史的まちなみも美しい「志摩市景観計画重点候補地区」にあります。

1929(昭和4)年に旅館として建築され、昭和後期に改修が行われました。1階には玄関以外に厨房や控室、私的な部屋が、2階には8畳を主とした客室が配置されています。集客を意識して、道路に面した側はほとんど開口部で構成されており、特に2階には大きな窓に高欄を設け開放的な外観が特徴的です。



登録年月日:2013(平成25)年12月24日

所在地:磯部町上之郷375-1

建築面積248㎡、木造2階建、瓦葺

伊勢神宮内宮の別宮である伊雑宮の門前旅館「吉角」の跡地に、1961(昭和36)年に剣舞道場として建築され、現在は剣道場として使われています。北隣には国登録有形文化財(建造物)の「中六店舗」があり、伊雑宮門前の歴史的景観に寄与する建物です。周辺の歴史的まちなみも美しい「志摩市景観計画重点候補地区」にあります。

五知の檜や椋本の杉、床柱は五知のヤマモモと十勝のブドウなど伊勢湾台風時に倒れた木が材料として用いられたと伝えられています。正面玄関には千鳥破風ちどりやぶかみを設け、その上に「参剣」を表した鬼瓦をのせています。



市指定天然記念物

トキワガキ群生 べんざい

指定年月日:1972(昭和47)年3月31日

所在地:神明神社(阿児町神明23-1)

トキワガキは、本州から九州、沖縄にかけて分布する常緑樹です。樹高は10mほどで、樹皮は黒く、鱗うろこのようにはがれます。梅雨頃に釣り鐘状の白い花をつけます。「トキワガキ群生」は、阿児町神明にある神明神社の本殿付近や参道など境内に生育する複数のトキワガキから構成されています。



市指定天然記念物

家建やたての茶屋跡ちややあとのオオシマザクラ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日

所在地:磯部町恵利原5

オオシマザクラは、春に純白の花をつける野生の桜で、全国に植林されているソメイヨシノやサトザクラの母種ぼくしゅとして知られます。オオシマザクラの樹皮には、横方向に傷をつけたように見える皮目が目立ちます。花は葉と同時に開花するので、葉の緑色にとけこみ、やわらかい印象を受けます。「家建の茶屋跡のオオシマザクラ」は、伊勢道路の脇を通って天の岩戸に向かう道筋にあります。老木ですが、根元付近および地上から約80cmまでの高さで、周囲長約1.2mの太さのしっかりとした幹を4本伸ばしています。太い幹からは多数の枝が南側の休耕田側に張り出すように伸び、早春には訪問者を迎えるかのように、たくさんの花を咲かせます。



伊雑宮のクスノキ

所在地:磯部町上之郷

志摩国一の宮であり、伊勢神宮の別宮として崇敬を集める伊雑宮の鳥居横にそびえ立つクスノキの大木です。根元が巾着(きんちやく)のように膨らんだ独特の樹容から「巾着楠(きんちやくぐす)」の愛称で親しまれています。数百年もの間、参拝客を迎え入れてきたその圧倒的な存在感は、伊雑宮の荘厳な雰囲気醸成する不可欠な要素です。上之郷地区の歴史的な田園風景と鎮守の杜が一体となった景観において、地域のランドマークとしての役割を十二分に果たしており、志摩市の精神文化を象徴する「緑の遺産」と言えます。



市指定天然記念物

隣江寺りんこうじのイチヨウ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日

所在地:隣江寺(磯部町坂崎1192)

イチヨウは、中国原産の植物と考えられています。が、病虫害に強いことから、室町時代以降、各地の寺院や公園、街路樹などに植えられています。「隣江寺のイチヨウ」は、磯部町坂崎にある隣江寺境内の鐘つき堂の脇に生育する雌株で、秋には銀杏が舞ります。2017(平成29)年11月現在、地上から1.5mの高さの幹周囲長が5.5mになる大樹です。



市指定天然記念物

隣江寺のクスノキ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日
所在地:隣江寺(磯部町坂崎1192)

クスノキは、本州から九州、沖縄にかけて生育する植物で、大きく成長します。1年を通して葉が茂る常緑高木樹ですが、春に新しい葉が伸びると、古い葉は役目を終え、一斉に落葉します。「隣江寺のクスノキ」は、磯部町坂崎にある隣江寺境内の階段を上りきった場所に生育します。2017(平成29)年11月現在、地上から1.5mの高さの幹周囲長が3.6mの大樹です。



市指定天然記念物

玉泉庵のナギ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日
所在地:玉泉庵(磯部町迫間671)

ナギは、本州から四国、九州にかけての暖かい地域の山中に生育する常緑の植物で、幹は直立し大木になります。葉は厚く、細い葉脈が平行に走るのがみられます。初夏に淡い黄色の雌花と雄花が別々の株に咲きます。果実は、青緑色で球形をしており、表面には白い粉がついているようになります。「玉泉庵のナギ」は、磯部町迫間にある玉泉庵の境内の祠の横にある単木で、2017(平成29)年12月現在、地上から1.5mの高さの幹周囲長が3mになる大樹です。



市指定天然記念物

小的矢の日和山のタブノキ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日
所在地:磯部町の矢814

タブノキは、本州から沖縄にかけて生育する高木で、シヤカシとともに照葉樹林を代表する沿岸部に多い樹木です。新芽は赤く、まるで花が咲いているようにみえますが、花は黄緑色で目立たず、5月頃にひっそりと咲きます。「小的矢の日和山のタブノキ」は、磯部町の矢にある小高い日和山の上に生育しています。樹高は約15mで、大きく枝を伸ばし、まるで丘全体に傘をかぶせたような樹形をしています。斜面に生えており、地上約1.6m付近で太い2本の幹に分かれます。2017(平成29)年12月現在、2本の幹に分かれる直前の最も太い箇所の大径は1.7mになる大樹です。



市指定天然記念物

的矢村神社のイスノキ

指定年月日:1999(平成11)年12月24日
所在地:的矢村神社(磯部町の矢618)

イスノキは、本州から九州にかけて生育する常緑の高木です。イスノキは、アブラムシのなかまが寄生するため、子どもの握りこぶしのような大きさの「虫こぶ」ができます。この虫こぶを吹くと「ヒョウウ〜ヒョウウ〜」と鳴るため、イスノキは、「ヒョンノキ」と呼ばれることもあります。「的矢村神社のイスノキ」は、磯部町の矢にある的矢村神社の本殿脇に生育する単木です。神社は小高い丘の上であり、参道の階段をのぼってゆくと、高くそびえ立つイスノキが見えてきます。2017(平成29)年12月現在、地上から1.5mの高さの幹周囲長が2.6mになる大樹です。

